



吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第 9 号
令和8年7月10日 発行
文責 校長 金子 敬尋

堂々の弁論 うきは市青少年弁論大会

6月14日(日)に吉井町白壁ホールで、第76回「社会を明るくする運動」うきは市青少年弁論大会が行われました。本校からは6名の子どもたちが参加し、自分たちの考えや意見を熱く語ってくれました。本校の出場者と演題は次の通りです。

学 年	名 前	演 題
1年生	大橋 咲季	大きな争いごとのない世界にするには
	田中 維樹	警察官を目指して
2年生	高倉 美海	行動する前に
	佐藤 愛莉	明るい道を守るために
3年生	大賀 妃菜	私の自慢
	河野 怜奈	言葉のバトンをつなぐ



人前で話す、しかも大きな会場のステージで大勢の前で話すというのはなかなかできないことです。本番は6人とも大変緊張していたと思いますが、堂々の弁論でした。この経験は、きっとこれからの中学校生活に大きく生きてくると思います。

また、アトラクションで本校吹奏楽部も白壁ホールで演奏しました。吹奏楽部は本年度初めてのステージでした。

たが、こちらもしっかりした発表ができたと思います。6人の弁士のみなさん、吹奏楽部のみなさん、よくがんばりました。

人権についてしっかりと考えました ご参観ありがとうございました

皆様もご承知のとおり、福岡県では7月を同和問題啓発強調月間と定めています。そのため、県や市、あるいは学校等で様々な啓発事業を行い、差別をなくす取組が進められています。本校では7月7日(火)に、各学級で人権学習を行いました。1年生は「ほんとの空」、2年生は「識字学級『夕やけがうつくしい』」、3年生は「『統一応募用紙』の取組に学ぶ」という題材で、保護者の方にも見ていただく授業参観にしました。保護者の方への啓発や家族と一緒に差別の解消について考えていただくきっかけになればと思っています。各学年で内容は異なりますが、全ての子どもたちが、差別のおかしさに気づいたり差別を見抜く力をつけたりして、決して差別を許さない人間になってほしいと職員は願いながら授業を行いました。授業を受ける子どもたちも真剣な眼差しで、先生の話聞くことができていたと思います。吉井中学校が、差別がなく誰もが過ごしやすい学校になることを願っています。お忙しい中に、また大変暑い中に授業参観に来ていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



筑後地区中学校水泳競技大会 水泳部がんばりました

中体連では各ブロックの大会が終わり、今は筑後地区大会の最中です。先日、陸上競技で地区大会が行われましたが、今度は7月8日(水)に筑後地区中学校水泳競技大会が行われました。大会は筑後広域公園プールで行われ、ブロックを勝ち上がった本校水泳部も出場しました。水泳部の子どもたちは、出場した種目やチームの応援をしっかりとがんばってきました。応援する子どもたちや保護者の様子を見て、「水泳部はみんな仲が良く、いい雰囲気だな」と感じ、個人競技ですが水泳部のチームワークがしっかり育っていると思いました。大会結果は、3年生の辻真真くんが100メートル背泳ぎと200メートル背泳ぎの2種目で福岡県中学校水泳競技大会出場を果たしました。県大会は7月27日(月)・28日(火)に福岡市立総合西市民プールで行われます。県大会での健闘を祈ります。



明日は、ソフトボールと柔道の地区大会です。ソフトボール部・柔道部のみなさん、陸上・水泳に続き、県大会出場をめざしてがんばってください!応援しています。